

記録

第三回關西連合保育會

研究協議會

標題の協議會が十月二十九日(土)神戸市灘區觀音山の神戸高等學校に開かれた。震災をまぬがれた立派な校舎の正門前に廣く設けられた受付に、つどふ若人達の忙しそうな情景も保育會でなければなめられぬ明るい時代を感じられ、大會場に當てられた大講堂の廣さも凡そ二千の保育關係者で些か陝隘を感ずる位であつた。配布された部厚な協議會案内には、二十年から四十餘年もの永い勤続者名四十一名の記録がのせられてあり、つどいて當日のプログラムに、協議内容が詳しく記されて實に參會者の興味をわき起した事と思ふ。ことに午後から行われる十四分團に分れた分團研究一覽表には、保育理論、内容は勿論幼児の日常の細々した點にまで研究的な取り扱ひの結果が發表されているので、どの分團に加はるべきか、しぼし決しかねていた事は私ばかりではないと思ふ。貴重な時間を何の分團に参加すべきか……廣い校舎の内外に三々五々打ちつれて晝食にくつろいだ折に決定されたものか十

四の協議會場に急ぐ保育研究者のグループの力づよい意氣に打たれて私も八分團研究協議會場に仲間入りした。あの有名な「明石ブラン」に體系づけられた明石幼稚園の御研究を興味深く伺つて今回の列席を一層嬉しく思つた。研究一覽表にある題目を記して御參考に供したいと思ふ。(東京・山村記)

分團研究題目

- 一(1)クレッチェリン検査による氣質 2(精神發達) 三(3)才能教育の可否 4(中心興味) 五(5)公立園の宗教的情操涵養 6(責任觀を養ふ方法) 四(7)遊具の活用 8(ハッピーフレンド教育) 五(9)道義性を培ふ具體案 10(社會性を基調とした躰) 六(11)創造性開發具體案) 七(12)たのしい幼稚園 13(自然に對する本能の取扱) 八(14)カリキュラム 15(五日制) 九(16)幼児保育の重大性の社會輿論 17(幼稚園教育の重大性を社會に 18(幼稚園と保育所の幼児の同待遇) 十(19)PTAの活動の在り方) 十一(20)躰の反省と今後の考慮點 21(家庭と連絡しての日常躰の標準) 十二(22)健全な精神力と體力ある教育者の養成 23(各府縣二幼児教育研究所をおく) 24(保育用具の免税と配給) 十三(25)日本に於ける民主教育の徹底化 26(新しい保育所の在り方) 27(幼児と結核) 十四(28)幼稚園入園の希望を達し得なかつた幼児の生活指導について 29(衛生施設と養護教諭設置)

中國保育連合會發會

秋の宮島——紅葉には少し早い、彌山はところどころ黄色を帯びている。十月三十日、三十一日中國地區保育連合會の結成大會が、宮島小學校講堂で開かれた。